

○ JA宮崎経済連は、県内の豚ふん堆肥及び鶏ふん堆肥の有効活用のため、肥料メーカーと共同で低コストの堆肥入り粒状複合肥料（BB肥料）を開発し、2022年9月から発売開始。

■国内資源の
種類

鶏ふん、豚ふん

■肥料の種類・肥料名称

・堆肥入り粒状複合肥料（BB肥料）
・エコループシリーズ
「エコループ888」、「エコループ255」、「エコループ200」、「エコループ茶842」、「エコループ飼料作555」

■作物

エコループ888
⇒ 園芸全般
エコループ255、
エコループ200
⇒ 露地野菜等
エコループ茶842
⇒ 茶
エコループ飼料作
555⇒ 飼料作

■保証成分量/主成分の含有量（%）、
特徴等

銘柄	N	P	K	Mg	Mn	B
888	8	8	8	3	-	-
255	12	5.5	5	-	0.5	0.2
200	12	10	10	-	0.5	0.2
茶842	8	4	2	1	-	-
飼料作555	15	5	5	-	-	-

■取組の経緯・内容・成果（見込み）

取組の経緯

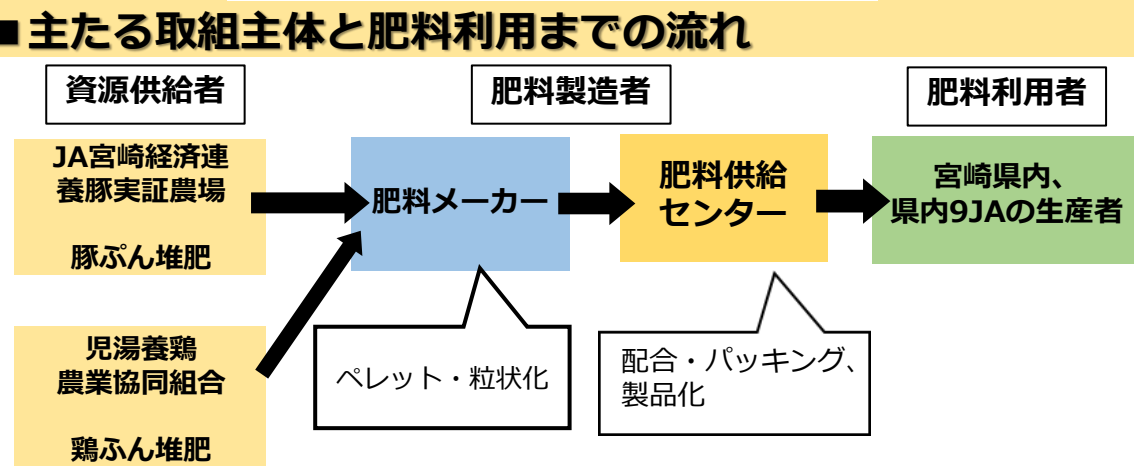
・JA宮崎経済連養豚実証農場から発生する豚ふん堆肥（約26,000 t /年間）及び児湯養鶏農業協同組合から発生する鶏ふん堆肥（約6,000 t /年間）の有効活用。

取組の内容

・宮崎県内で発生する堆肥を肥料メーカーがペレット・粒状化し、経済連の肥料供給センターで配合・パッキングを行い製品化。
・鶏ふん堆肥入りペレットを約30%配合した園芸用汎用銘柄（エコループ888）、豚ふん堆肥入りペレットを約30%配合した葉菜類向けの2銘柄（エコループ255、エコループ200）、豚ふん堆肥入りペレットを約50%配合した茶向け銘柄（エコループ茶842）、エコループ888を約1割、豚ふん堆肥入りペレットを約1割配合した飼料作向け銘柄（エコループ飼料作555）の計5銘柄を開発。
・宮崎県内13JA中9JAに供給し、昨年9月の供給開始から2023.6末時点で、約5,000袋を供給。

成果（見込み）

・2022年秋肥の化学肥料同等銘柄の比べ供給価格を約75～85%に抑制。



■今後の課題・取組

・生産者への周知、普及が課題であることから、注文書、栽培暦等へ掲載し導入を図る。
・現在、品目別の銘柄設計及び試験を行っていることから、今後エコループシリーズを導入してもらい、生産コスト低減を図る。
・新たな地域資源の活用を検討。

エコループ888

エコループ255

エコループ200